



令和3年度
大学院
学生募集要項

■修士課程

- | | |
|-------------|----------------|
| ● 理工学研究科 | ● 医療科学研究科 |
| バイオサイエンス専攻 | 総合リハビリテーション学専攻 |
| アニマルサイエンス専攻 | 看護学専攻 |
| 環境マテリアル専攻 | 柔道整復学健康ケア専攻 |

■博士課程

- | | |
|----------|----------------|
| ● 理工学研究科 | ● 医療科学研究科 |
| 先端科学技術専攻 | 総合リハビリテーション学専攻 |

帝京科学大学

目 次

建学の精神	2	■ 医療科学研究科 修士課程	
出願から入学手続きまでの流れ	2	● 看護学専攻	
募集人員	3	出願資格	25
試験日程	3	指導を希望する教員との事前相談	25
令和3年度納入金〔学外出身者〕	3	試験日程	26
令和3年度納入金〔学内出身者〕	4	試験場／出願書類	26
入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	5	入学検定料	26
		出願方法／出願書類等の掲載場所	27
		選考方法	27
		授業科目及び担当教員	28
		指導教員及び研究指導内容	29
		授業の実施方法について	29
■ 理工学研究科 修士課程		■ 医療科学研究科 修士課程	
● バイオサイエンス専攻		● 柔道整復学健康ケア専攻	
● アニマルサイエンス専攻		出願資格	31
● 環境マテリアル専攻		指導を希望する教員との事前相談	31
出願資格	7	試験日程	32
指導を希望する教員との事前相談	7	試験場／出願書類	32
試験日程	8	入学検定料	32
試験場／出願書類	8	出願方法／出願書類等の掲載場所	33
入学検定料	8	選考方法	33
出願方法／出願書類等の掲載場所	9	授業科目及び担当教員	34
選考方法	9	指導教員及び研究内容	35
研究分野・授業科目及び担当教員	10	授業の実施方法について	35
		■ 医療科学研究科 博士課程	
		● 総合リハビリテーション学専攻	
		出願資格	37
		指導を希望する教員との事前相談	37
		試験日程	38
		試験場／出願書類	38
		入学検定料	39
		出願方法／出願書類等の掲載場所	39
		選考方法	40
		指導教員及び研究内容	40
		授業の実施方法について	40
		■ 共通事項	
		試験に関する注意事項	43
		新型コロナウイルス感染症対策	44
		合格発表について	44
		入学手続について	44
		長期履修制度（医療科学研究科 修士課程）	45
		入学辞退手続	45
		個別の入学資格審査について	46
		試験場案内	47

■ 建学の精神

人類の将来を正しく見据え、生命の尊厳を深く学び、自然と人間の共生に貢献できる人材を育成し、持続可能な社会の発展に寄与する。

■ 出願から入学手続きまでの流れ

出願資格の確認



出願資格を確認してください。出願資格によっては、出願手続き前に入学資格審査を受ける必要があります。

指導を希望する教員との事前相談



志望する研究内容を検討し、指導を希望する教員を選び、出願前に必ず事前相談を受けてください。

出願手続



入学検定料の支払い完了後に、必要書類を提出してください（出願締切日必着）。
入学検定料振込依頼書及び出願書類（本学所定用紙）は、本学ホームページよりダウンロードし、A4サイズのコピー用紙に片面で印刷してください。

受験票の送付



出願受付が完了しましたら、志願票に記入された住所宛に受験票を郵送します。

入学試験



理工学研究科は東京西キャンパス、医療科学研究科は千住キャンパスにて試験を行います。
試験室は、当日試験場（1階ロビー）に掲示しますので、確認のうえ、集合時刻までに入室してください。

合否発表及び入学手続



合否結果を郵送にて通知します。合格者には「入学手続要項」を同封しますので、期日までに入学手続きを完了してください。

入学許可書の送付



入学手続が完了した方に「入学許可書」を送付します。

入 学

■ 募集人員

課程	理工学研究科	医療科学研究科
修士課程	バイオサイエンス専攻 15名 アニマルサイエンス専攻 15名 環境マテリアル専攻 15名	総合リハビリテーション学専攻 3名 看護学専攻 3名 柔道整復学健康ケア専攻 3名
博士課程	先端科学技術専攻 8名	総合リハビリテーション学専攻 2名

※ 募集人員の一部については、本学卒業予定者等から別途選考することがあります。

■ 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

■ 令和3年度納入金〔学外出身者〕

● 理工学研究科

（単位：円）

課程	専攻	入学金 （入学時のみ）	授業料 （半期分）	実験実習費 （半期分）	施設設備費 （半期分）	学生傷害保険料 （入学時のみ）	初年度納入金額 （手続時最小限度納入金額）
修士	バイオサイエンス専攻	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	2,430	1,522,430 (917,430)
	アニマルサイエンス専攻	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	4,060	1,524,060 (919,060)
	環境マテリアル専攻	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	2,430	1,522,430 (917,430)
博士	バイオサイエンス領域 〔先端科学技術専攻〕	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	3,620	1,523,620 (918,620)
	アニマルサイエンス領域 〔先端科学技術専攻〕	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	5,900	1,525,900 (920,900)
	環境マテリアル領域 〔先端科学技術専攻〕	310,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	3,620	1,523,620 (918,620)

※ 学生傷害保険料は、変更となる場合があります。

● 医療科学研究科

（単位：円）

課程	専攻	入学金 （入学時のみ）	授業料 （半期分）	施設設備費 （半期分）	学生傷害保険料 （入学時のみ）	初年度納入金額 （手続時最小限度納入金額）
修士	総合リハビリテーション学専攻	310,000	800,000 (400,000)	240,000 (120,000)	1,790	1,351,790 (831,790)
	看護学専攻	310,000	800,000 (400,000)	40,000 (20,000)	1,790	1,151,790 (731,790)
	柔道整復学健康ケア専攻	310,000	800,000 (400,000)	40,000 (20,000)	1,790	1,151,790 (731,790)
博士	総合リハビリテーション学専攻	310,000	800,000 (400,000)	140,000 (70,000)	2,650	1,252,650 (782,650)

※ 学生傷害保険料は、変更となる場合があります

■ 令和3年度納入金〔学内出身者〕

● 理工学研究科

(単位：円)

課程	専攻	入学金 (入学時のみ)	授業料 (半期分)	実験実習費 (半期分)	施設設備費 (半期分)	学生傷害保険料 (入学時のみ)	初年度納入金額 (手続時最小限度納入金額)
修士	バイオサイエンス専攻	210,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	2,430	1,422,430 (817,430)
	アニマルサイエンス専攻	210,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	4,060	1,424,060 (819,060)
	環境マテリアル専攻	210,000	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	2,430	1,422,430 (817,430)
博士	バイオサイエンス領域 〔先端科学技術専攻〕	免除	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	3,620	1,213,620 (608,620)
	アニマルサイエンス領域 〔先端科学技術専攻〕	免除	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	5,900	1,215,900 (610,900)
	環境マテリアル領域 〔先端科学技術専攻〕	免除	800,000 (400,000)	170,000 (85,000)	240,000 (120,000)	3,620	1,213,620 (608,620)

※ 学生傷害保険料は、変更となる場合があります。

● 医療科学研究科

(単位：円)

課程	専攻	入学金 (入学時のみ)	授業料 (半期分)	施設設備費 (半期分)	学生傷害保険料 (入学時のみ)	初年度納入金額 (手続時最小限度納入金額)
修士	総合リハビリテーション学専攻	210,000	800,000 (400,000)	240,000 (120,000)	1,790	1,251,790 (731,790)
	看護学専攻	210,000	800,000 (400,000)	40,000 (20,000)	1,790	1,051,790 (631,790)
	柔道整復学健康ケア専攻	210,000	800,000 (400,000)	40,000 (20,000)	1,790	1,051,790 (631,790)
博士	総合リハビリテーション学専攻	免除	800,000 (400,000)	140,000 (70,000)	2,650	942,650 (472,650)

※ 学生傷害保険料は、変更となる場合があります。

■ 受験及び修学上の特別配慮について

身体機能の障がいや疾病・疾患等により、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、遅くとも出願を希望する試験区分の出願開始日の1か月前までに、帝京科学大学 入試・広報課 入試係までお問い合わせください。本学の対応が決定後に、出願していただきます。

なお、要望等に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

また、不慮の事故等により、出願後に特別な配慮が必要となった場合も速やかにご連絡ください。

帝京科学大学 入試・広報課 入試係 03-6910-3706 (直通)

■ 個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は入学案内、入学試験に付随する業務及び統計的集計を行うために利用します。

この業務の一部は、本学から当該業務の一部を委託した業者（以下「受託業者」という。）にて行うことがあります。

業務委託に当たり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供することはありますが、帝京科学大学が明示する用途のみの利用であり、その受託業務を超えた利用はありません。

■ 理工学研究科 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

● バイオサイエンス専攻（修士課程）

生命科学の諸分野の基礎的領域とその応用分野である生物工学分野、医療科学分野を含む幅広い領域の発展に寄与し得る研究者・技術者・教育者・医療技術者を育成することを目標としています。この目標に合った学生を受け入れるために、微生物科学、動物科学、植物科学、分子生物学、生物化学、化学、医療科学等の各分野の基礎知識あるいはこれらの総合的知識を身につけている学生を選考します。また、技術的側面のみならず社会的、人間的側面からも生物試料を扱うために、学部卒業生としてきちんとした倫理観を備えていることも求められます。

● アニマルサイエンス専攻（修士課程）

人間と飼育動物との良好な関係の構築、野生動物の衛生、環境エンリッチメント、生態、保全など、人間と動物との共生に関する教育・研究を通して動物関連の科学や産業の発展に寄与し得る研究者・技術者を育成することを目標としています。この目標に合った学生を受け入れるために、動物看護福祉科学、動物基礎科学、人間動物関係科学のいずれかの分野の基本的知識を身につけている学生を選考します。また、技術的側面のみならず社会的、人間的側面からもアニマルサイエンスを扱うために、学部卒業生としてのきちんとした倫理観を備えていることも求められます。

● 環境マテリアル専攻（修士課程）

生物と環境との関わり、環境を分析し自然と共存していくための科学、環境負荷の少ないすなわち環境に優しい物質の創製など、環境に関する教育・研究を通して、環境関連の科学や工学の発展に寄与する研究者・技術者の育成を目標としています。この目標に沿って、環境科学、環境機能材料、自然環境科学の各分野の基礎知識を身につけている学生を選考します。これら学生には、環境マテリアル専攻の大学院生にふさわしく、学識的側面のみならず社会的、人間的側面からも正しい倫理観を備えていることが求められます。

● 先端科学技術専攻（博士課程）

高度な専門性を有するだけでなく、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者及び高度な教育・研究能力を兼ね備えた大学教員の養成を目的とした専攻です。これらの目的を達成するため、原則として優秀な成績で修士課程を修了した者（修了予定者を含む。）又はこれらの者と同等以上の学力を有する者を選考します。

■ 医療科学研究科 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

医療科学研究科では、様々な課題について具体的な問題意識とそれを解決する熱意をもち、生命倫理・医療倫理を尊重しながら、研究とその実践に取り組む積極性と行動力を備える次のような人材を求めます。

● 総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

- (1) 疾病の予防や健康増進、生活の支援など、地域での自立生活や社会参加の支援等に至る様々な展開に貢献しようという意欲をもった人
- (2) 医療及び地域の実践場面における問題発見能力や問題解決能力をはじめ、実践研究の計画、情報処理、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めたいという姿勢と熱意をもった人
- (3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人

● 看護学専攻（修士課程）

- (1) 高い倫理感と豊かな人間性を有し、医療や看護の発展に貢献できる人
- (2) 科学的・論理的思考ができ、看護学における疑問や課題の解決に向けて研究することに強い関心をもつ人
- (3) 将来、看護の実践の場でリーダーとなれる資質を有し、看護学や看護実践の発展に向けて、活動する意思を有する人

● 柔道整復学健康ケア専攻（修士課程）

- (1) 柔道整復学の理論に基づく外傷の予防・改善、運動による健康ケアの増進など、臨床現場、スポーツ施設や地域の健康カルチャー室など地域の健康づくりに貢献できる人
- (2) 医療や地域の実践場面における問題発見能力、問題解決能力、論理性や表現力等の他、実践研究の計画、ディスカッション、プレゼンテーション等の能力を高め、高度専門職業人並びに実践研究者としての資質を高めるための能力をもった人
- (3) 高い倫理観と豊かな人間性をもった人

● 総合リハビリテーション学専攻（博士課程）

- (1) 科学的・倫理的な思考に基づいて独創的かつ実践的な研究を遂行することに意欲のある人
- (2) 大学、あるいは大学院における教育・研究指導に意欲のある人
- (3) 医療現場において、高い倫理観と高度な専門知識に基づいた実践能力を持ち、自立的な研究を行うことに意欲のある人
- (4) 科学的エビデンスを構築し、研究開発を行うことに意欲のある人

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 学校教育法に定める大学を卒業した者及び令和3年3月末日までに卒業見込みの者
- 2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学日本校」をご参照ください。
- 6 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」をご参照ください。
- 7 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 学校教育法の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本学大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- 10 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の7又は8によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の9又は10によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。
- (4) 社会人選考又は外国人留学生選考に出願しようとする場合は、出願開始日の2週間前までに入試・広報課 入試係へ連絡してください。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P10「10研究分野・授業科目及び担当教員」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込先までメールにてお申し込みください。

- 1 事前相談該当者について
理工学研究科に出願を希望する方は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。
- 2 指導を希望する教員について
P10「10研究分野・授業科目及び担当教員」を参照してください。
- 3 期間について
遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。
- 4 申込方法について
以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。
 - (1) メールタイトル
「大学院 理工学研究科 事前相談希望」
 - (2) 必要事項
① 氏名（カナ） ② 性別 ③ 志望する専攻・課程 ④ 希望する研究分野
⑤ 指導を希望する教員名 ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
 - (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

● 帝京科学大学 東京西キャンパス〔山梨県上野原市八ツ沢2525〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書 成績証明書	最終学歴の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（見込）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（見込）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所は P9参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、「実際のサイズ」で印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

- 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P9参照）、A4サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

- 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。
- 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。
- ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

- (1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P9参照）、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。
- (2) 市販の角形2号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。
- (3) 提出方法
 - ① 郵便による出願（出願期間内必着）
最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。
 - ② 直接来学しての出願（出願期間・窓口受付時間等にご注意ください。）
- (4) 出願先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館4階入試センター）
〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号
電話：03-6910-3706（入試係直通）
窓口受付時間：月曜～金曜 9時～16時、土曜 9時～12時
※ 指定された出願期間以外の出願はできません。
※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。
- (5) 注意事項
 - ① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。
 - ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
 - ③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
 - ④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
 - ⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。
HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類
<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

(1) 一般選考

筆記試験、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に合否を決定します。

時間	試験内容	
9:00～9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～11:00	一般科目〔英語〕	大学学部卒業程度で出題します。 ※大学から辞書を貸与します。
11:10～12:40	専門科目	各専攻において共通の基礎的科目及び志望する研究分野に応じた出題をします。
13:20～13:30	受験上の注意	面接について
13:30～	面接	各専攻において志望する研究分野を中心に、15分程度の面接を行います。

(2) 社会人選考及び外国人留学生選考

出願資格の各号のいずれかに該当する社会人（各種の研究機関、教育機関又は企業等に1年以上勤務する方で、入学後も引き続きその身分を有し、勤務成績が優秀であり、所属長の承諾を受けた方）及び外国人留学生（日本国籍を有しないで、在留資格が「留学」である方）の選考は、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に合否を決定します。

時間	試験内容	
12:45～13:15	面接控室入室時刻	13:15までに着席してください。
13:20～13:30	受験上の注意	面接について
13:30～	面接	各専攻において志望する研究分野を中心に面接を行います。

10 研究分野・授業科目及び担当教員

専攻	分野	授業科目	担当教員	
バイオサイエンス	生物工学	バイオプロセス工学特論Ⅰ バイオプロセス工学特論Ⅱ	教授 松岡 浩	
		食品科学特論Ⅰ 食品科学特論Ⅱ	未定	
		分子生物学特論Ⅰ 分子生物学特論Ⅱ	准教授 柴田 安司	
		微生物学特論	准教授 上野 良平	
		製剤学特論	教授 佐野 友彦	
	生体機能学	生体反応特論	未定	
		植物組織培養学特論Ⅰ 植物組織培養学特論Ⅱ	教授 東 克己	
	生物有機化学	生物有機化学特論Ⅰ 生物有機化学特論Ⅱ	教授 山口 十四文	
		遺伝子化学特論Ⅰ 遺伝子化学特論Ⅱ	教授 岩瀬 礼子	
	医療科学	神経科学特論	教授 荻原 宏毅	
		リハビリテーション科学特論	教授 昇 寛	
		共生ロボット工学特論	教授 永沼 充	
		生体信号処理特論 センサ工学特論	教授 内田 恭敬	
		医療情報処理特論	教授 斉藤 幸喜	
	共通	生体材料工学特論	准教授 堀 和芳	
		バイオサイエンス輪講第一 バイオサイエンス輪講第二 バイオサイエンス輪講第三 バイオサイエンス輪講第四 バイオサイエンス特別実験第一 バイオサイエンス特別実験第二	各教員	
		動物看護福祉科学	代謝生理学特論	教授 小林 豊和
			動物看護学特論	准教授 濱野 佐代子
			動物福祉特論	准教授 加隈 良枝
			動物保健衛生学特論	准教授 彦野 弘一
臨床動物行動学特論	准教授 加隈 良枝			

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。

※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

専攻	分野	授業科目	担当教員
アニマルサイエンス	動物基礎科学	動物行動生理学特論	講師 今野 晃嗣
		動物行動神経科学特論	教授 近藤 保彦
		動物行動学特論	教授 藪田 慎司
		動物行動生態学	教授 森 貴久
		陸生哺乳類学特論	准教授 島田 将喜
		水生哺乳類学特論	教授 森 恭一
		社会行動と生物学	教授 藪田 慎司
		動物基礎科学特殊講義	未定
	人間動物関係科学	環境教育特論	教授 古瀬 浩史
		動物園動物学	教授 並木 美砂子
		動物介在介入Ⅰ	教授 花園 誠
			講師 山本 真理子
		動物介在介入Ⅱ	准教授 木場 有紀
			准教授 濱野 佐代子
		動物介在人間工学特論	教授 小川 家資
	共生文化論	教授 井腰 圭介	
	共通	動物科学特論一	各教員
		動物科学特論二	
		アニマルサイエンス輪講第一	
		アニマルサイエンス輪講第二	
		アニマルサイエンス輪講第三	
アニマルサイエンス輪講第四			
アニマルサイエンス特別実験第一			
アニマルサイエンス特別実験第二			
環境マテリアル	環境科学	環境物理化学特論	教授 仲山 英之
		環境有機化学特論	教授 釘田 強志
		環境無機化学特論	講師 山際 清史
		環境分析学特論	准教授 和田 龍一
		大気環境学特論	
	環境機能材料	分光学特論	教授 仲山 英之
		機能性分子特論	准教授 辻本 敬
		クリーンエネルギー特論	講師 山際 清史
	自然環境	環境共生学特論	教授 岩瀬 剛二
		生物間相互作用学特論	
		植物環境生理学特論	教授 渡邊 浩一郎
		植物代謝機能学特論	
		環境野生動物学特論	教授 篠原 正典
		保全遺伝学特論	
		物質循環生態学特論	教授 橋本 慎治
	水圏環境生態学特論		
	環境生態学特論	准教授 下岡 ゆき子	
	人類学特論		
	共通	環境マテリアル輪講第一	各教員
		環境マテリアル輪講第二	
		環境マテリアル輪講第三	
環境マテリアル輪講第四			
環境マテリアル特別実験第一			
環境マテリアル特別実験第二			

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。

※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

■ 理工学研究科

- 博士課程 先端科学技術専攻

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和3年3月末日までに取得見込みの者
- 2 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 4 日本国内において、外国の大学院相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者

※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校」をご参照ください。

- 5 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- 6 文部科学大臣の指定した者
- 7 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた24歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の3、4、5、6によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の7によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。
- (4) 社会人選考又は外国人留学生選考に出願しようとする場合は、出願開始日の2週間前までに入試・広報課 入試係へ連絡してください。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P16「10領域別教員及び研究内容」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込先までメールにてお申し込みください。

1 事前相談該当者について

理工学研究科に出願を希望する方は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。

2 指導を希望する教員について

P16「10領域別教員及び研究内容」を参照してください。

3 期間について

遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。

4 申込方法について

以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。

- (1) メールタイトル 「大学院 理工科学研究科 事前相談希望」
- (2) 必要事項
 - ① 氏名（カナ）
 - ② 性別
 - ③ 志望する専攻・課程
 - ④ 希望する研究分野
 - ⑤ 指導を希望する教員名
 - ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
- (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I 期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II 期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

● 帝京科学大学 東京西キャンパス〔山梨県上野原市八ツ沢2525〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）の裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業証明書及び修了（見込）証明書	出身大学及び大学院の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
成績証明書	① 出願資格1により出願する者：学部及び大学院修士課程の成績証明書 ② 出願資格2、3、4、5により出願する者：当該教育課程の成績証明書 ③ 出願資格6、7により出願する者：最終出身大学等の成績証明書 ※ 上記①、②、③は、出身大学長等が作成・証明し、厳封したもの
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
修士の学位論文及び修士学位論文要旨（本学所定用紙）	① 修士の学位論文を提出した者は、学位論文の写し及び修士学位論文要旨（本学所定用紙）を提出してください。 ② 令和3年3月に修士課程修了見込みの者は、修士学位論文要旨（本学所定用紙）を提出してください。 ※ 上記に加えて公表論文・研究業績がある場合は、論文等の写し及び研究業績調査書（本学所定用紙）を提出してください。
研究経過報告書（本学所定用紙）	前項①②以外の方は、研究経過報告書（本学所定用紙）を提出してください。
研究計画書（本学所定用紙）	400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（修了）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（修了）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所はP15参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、実際のサイズで印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

(1) 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P15 参照）、A4 サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず、氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

(2) 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。

(3) 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。

(4) ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

(1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P15 参照）、A4 サイズのコピー用紙に実際のサイズで片面印刷をしてください。

(2) 市販の角形2号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。

(3) 提出方法

① 郵便による出願（出願期間内必着）

最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。

② 直接来学しての出願（出願期間・受付時間等にご注意ください。）

(4) 出願先

帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館4階入試センター）

〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号

電話：03-6910-3706（入試係直通）

窓口受付時間：月曜～金曜 9時～16時、土曜 9時～12時

※指定された出願期間以外の出願はできません。

※日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。

(5) 注意事項

① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。

② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。

④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。

⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。

HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類

<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

(1) 一般選考

筆記試験、口述試験・面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に可否を決定します。ただし、本学において、令和3年3月に修士課程を修了見込みの者には、学力試験を免除します。

時間	試験内容	
9:00～ 9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～ 10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～ 11:00	英語	大学から辞書を貸与します。
13:20～ 13:30	受験上の注意	面接について
13:30～	口述試験・面接	修士学位論文又は研究経過報告書及び研究計画書等について行います。

(2) 社会人選考及び外国人留学生選考

出願資格の各号のいずれかに該当する社会人（各種の研究機関、教育機関又は企業等に2年以上勤務する技術者又は研究者で、入学後も引き続きその身分を有し、勤務成績が優秀であり、所属長の承諾を受けた方）及び外国人留学生（日本国籍を有しないで、在留資格が「留学」である方）の選考は、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に可否を決定します。

時間	試験内容	
12:45～ 13:15	面接控室入室時刻	13:15までに着席してください。
13:20～ 13:30	受験上の注意	面接について
13:30～	面接	志望する研究領域のほか、提出された研究計画書等について面接を行います。

10 領域別教員及び研究内容

領域	部門	教員	研究内容
バイオサイエンス	医療科学	教授 永沼 充	人とロボットの相互作用に関する解析とネットワーク応用
		教授 内田 恭敬	機械学習を用いた生体情報及び活動状況変化検知システムに関する研究
		教授 斉藤 幸喜	ディープラーニングを用いた医療データの解析に関する研究
	生物科学	教授 山口 十四文	真核細胞のDNA複製やテロメア合成に影響を及ぼすヌクレオシド・ヌクレオチドなどの有用な類縁化合物の設計と合成、それら類縁化合物の酵素や細胞レベルでの作用機構や応用に関する研究
		教授 岩瀬 礼子	遺伝子発現を特異的に制御する核酸医薬を指向した、修飾オリゴヌクレオチドの合成とその機能性。遺伝子発現制御を光誘導する機能性修飾核酸の創出。遺伝子診断を指向した、蛍光修飾核酸の合成とその遺伝子検出機能
		教授 東 克己	植物生理学的、分子生物学的アプローチによる、植物の組織培養を経由した個体再生技術の研究と開発。植物の成長及び恒常性の維持に関する生体分子の検索及び機能解明
	生物工学	教授 松岡 浩	代謝工学的手法を用いる細胞の代謝過程の最適化、廃棄物からのアルコール発酵生産、バイオリクターの生産性向上
		教授 佐野 友彦	化粧品、医薬品の分野で使用される皮膚外用剤の有効性やバイオアベイラビリティの向上を目指し、界面科学的、物理的手段によって有効成分の経皮吸収性を高める研究、及び経皮吸収メカニズムの解明

※ 教員については、退職等により変更になる場合があります。

領域	部門	教員	研究内容
アニマルサイエンス	動物科学	教授 森 貴久	動物の個体レベル以上で観察される生物学的な特徴について、行動学的・生態学的・進化的な観点から解明する。
		教授 近藤 保彦	神経内分泌と嗅覚コミュニケーションとの関連から、動物の行動メカニズムを解明する。
		教授 藪田 慎司	動物の社会的相互交渉に用いられる行動を分析し、その機能、進化、原因メカニズム（動機付けや情動メカニズム）を解明する。
		教授 森 恭一	水界や島嶼地域に生息する動物の生態解明と、資源学や保全学の観点からそれらの動物がおかれている現状や課題解決策を究明する。
		准教授 彦野 弘一	動物の感染症にかかわる微生物の病原性及び免疫応答を解明し、これらの基礎的知見に基づいて動物感染症の診断および予防法を開発する。
		准教授 島田 将喜	長期フィールドワークに基づき、野生動物のインタラクション、社会的ネットワークを明らかにし、その発達上、進化上の重要性を探究する。
	人間動物関係学	教授 小川 家資	医療・教育現場、職場における動物介在の効果をもとに人の生理・心理変化から解明する。また、治療的乗馬が身体障害者の身体機能へ及ぼす効果を明確化し、より効果的な治療的乗馬を追求する。
		教授 花園 誠	動物福祉とその実践方法及び一次産業以外における動物活用法の研究。特に動物福祉を基盤とした動物介在システムの開発とその実用化に関する研究
		教授 並木 美砂子	動物と人間との関係について歴史的文化的観点から振り返るとともに、これからの共存関係の構築について、広い視野から考える。
		准教授 加隈 良枝	動物福祉の行動学的・生理学的評価に基づく、動物の適正な飼育方法及び管理技術の探究
環境マテリアル	環境科学	教授 岩瀬 剛二	生態系保全及び地域資源保全を目指した植物と菌類の菌根共生現象の実態解明、マツタケ等食用菌根菌の人工栽培技術開発
		教授 渡邊 浩一郎	高等植物による環境汚染物質の吸収と移行の解明、ファイトレメディエーション利用可能植物種の探索と環境浄化への応用に関する研究
		教授 橋本 慎治	水圏における食物連鎖を通じた炭素・窒素循環の解明、水質などの環境変化や気候変動に対する水生生物の応答に関する研究
		教授 篠原 正典	主に行動観察による野生動物の基礎生態に関する研究。また、それらを通じた人と動物の関係に関する研究
	エコマテリアル	教授 仲山 英之	超臨界流体の、環境負荷の少ない溶媒としての、利用分野の新規開拓と、そのことを目的とした溶媒特性の分子レベルでの研究
		教授 釘田 強志	新規触媒開発によるグリーンケミストリープロセスの確立、シリカメソ多孔体への有機分子触媒の固定化と高選択性固体触媒の開発
		准教授 辻本 敬	再生可能なバイオマスを利用した機能性高分子材料の開発環境調和型高分子合成法に関する研究

※ 教員については、退職等により変更になる場合があります。

■ 医療科学研究科

- 修士課程 総合リハビリテーション学専攻

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 学校教育法に定める大学を卒業した者及び令和3年3月末日までに卒業見込みの者
- 2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学日本校」をご参照ください。
- 6 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」をご参照ください。
- 7 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 短期大学または専門学校（修業年限3年以下）を卒業し、2年以上の社会経験を持ち、本大学院において個別の入学資格審査により認められた者
- 10 学校教育法の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- 11 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の7又は8によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の9、10、11によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P22「10授業科目及び担当教員」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込先までメールにてお申し込みください。

- 1 事前相談該当者について
医療科学研究科に出願を希望する方は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。
- 2 指導を希望する教員について
P22「10授業科目及び担当教員」を参照してください。
- 3 期間について
遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。
- 4 申込方法について
以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。
 - (1) メールタイトル
「大学院 医療科学研究科 事前相談希望」
 - (2) 必要事項
① 氏名（カナ） ② 性別 ③ 志望する専攻・課程 ④ 希望する研究分野
⑤ 指導を希望する教員名 ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
 - (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

- 帝京科学大学 千住キャンパス〔東京都足立区千住桜木2-2-1〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）の裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書 成績証明書	最終学歴の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（見込）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（見込）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所は P21参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、実際のサイズで印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

(1) 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P21参照）、A4サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず、氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

- 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。
- 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。
- ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

- (1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P21 参照）、A4 サイズのコピー用紙に実際のサイズで片面印刷をしてください。
- (2) 市販の角形 2 号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。
- (3) 提出方法
 - ① 郵便による出願（出願期間内必着）
最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。
 - ② 直接来学しての出願（出願期間・窓口受付時間等にご注意ください。）
- (4) 出願先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館 4 階入試センター）
〒120-0045 東京都足立区千住桜木 2 丁目 2 番 1 号
電話：03-6910-3706（入試係直通）
窓口受付時間：月曜～金曜 9 時～ 16 時、土曜 9 時～ 12 時
※ 指定された出願期間以外の出願はできません。
※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。
- (5) 注意事項
 - ① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。
 - ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
 - ③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
 - ④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
 - ⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。
HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類
<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

筆記試験、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に合否を決定します。

時間	試験内容	
9:00～ 9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～ 10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～ 11:00	英語	大学から辞書を貸与します。
11:10～ 12:10	小論文	
12:50～ 13:00	受験上の注意	面接について
13:00～	面接	志望する研究内容や意欲等について、15分程度の面接を行います。

10 授業科目及び担当教員

● 総合リハビリテーション専攻〔修士課程〕

分野	授業科目	担当教員
医学的リハビリテーション	総合リハビリテーション研究法特論Ⅰ 総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 神経発達機能解析学特論 神経発達機能解析学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 潮見 泰藏
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅰ 総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 運動機能解析学特論 運動機能解析学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 宮下 智
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅰ 総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 内部機能解析学特論 内部機能解析学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	准教授 廣瀬 昇
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅰ 総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 臨床神経内科・生活習慣病治療学特論 臨床神経内科・生活習慣病治療学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 眞先 敏弘
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 生活動作解析学特論 生活動作解析学演習	教授 江口 英範
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 障害予防・健康増進学特論 障害予防・健康増進学演習	教授 村上 憲治
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 運動器リハビリテーション学特論 運動器リハビリテーション学演習	准教授 芹田 透

※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。
 ※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。

分野	授業科目	担当教員
社会的リハビリテーション	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 高齢化地域生活支援学特論 高齢化地域生活支援学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 山田 健司
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 社会リハビリテーション学特論 社会リハビリテーション学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 橋本 伸也
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 社会病理学特論 社会病理学演習 総合リハビリテーション特別研究Ⅰ 総合リハビリテーション特別研究Ⅱ	教授 鈴木 幹夫
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 福祉支援工学特論 福祉支援工学演習	准教授 西條 富美代
	総合リハビリテーション研究法特論Ⅱ 医療社会支援学特論 医療社会支援学演習	教授 楠永 敏恵
	健康心理学特論 健康心理学演習	兼任講師 津田 彰

※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。
 ※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。

11 授業の実施方法について

本専攻では授業時間を原則、昼夜開講します。できるだけ大学院生に合わせた開講時間を設定しますので、事前相談の際にご相談ください。また、夏期休業期間及び冬期休業期間に集中講義を柔軟に実施します。

■ 医療科学研究科

● 修士課程 看護学専攻

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 学校教育法に定める大学を卒業した者及び令和3年3月末日までに卒業見込みの者
- 2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学日本校」をご参照ください。
- 6 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」をご参照ください。
- 7 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 学校教育法の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本学大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- 10 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の7又は8によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の9又は10によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P29「11指導教員及び研究指導内容」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込先までメールにてお申し込みください。

- 1 事前相談該当者について
医療科学研究科に出願を希望する方は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。
- 2 指導を希望する教員について
P29「11指導教員及び研究指導内容」を参照してください。
- 3 期間について
遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。
- 4 申込方法について
以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。
 - (1) メールタイトル
「大学院 医療科学研究科 事前相談希望」
 - (2) 必要事項
 - ① 氏名（カナ）
 - ② 性別
 - ③ 志望する専攻・課程
 - ④ 希望する研究分野
 - ⑤ 指導を希望する教員名
 - ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
 - (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

- 帝京科学大学 千住キャンパス〔東京都足立区千住桜木2-2-1〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）の裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書 成績証明書	最終学歴の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（見込）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（見込）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所は P27参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、実際のサイズで印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

- 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P27参照）、A4サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず、氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

- 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。
- 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。
- ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

- (1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P27参照）、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。
- (2) 市販の角形2号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。
- (3) 提出方法
 - ① 郵便による出願（出願期間内必着）
最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。
 - ② 直接来学しての出願（出願期間・窓口受付時間等にご注意ください。）
- (4) 出願先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館4階入試センター）
〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号
電話：03-6910-3706（入試係直通）
窓口受付時間：月曜～金曜9時～16時、土曜9時～12時
※ 指定された出願期間以外の出願はできません。
※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。
- (5) 注意事項
 - ① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。
 - ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
 - ③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
 - ④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
 - ⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。
HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類
<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

筆記試験、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に合否を決定します。

時間	試験内容	
9:00～9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～11:00	英語	大学から辞書を貸与します。
11:10～12:10	小論文	
12:50～13:00	受験上の注意	面接について
13:00～	面接	志望する研究内容や意欲等について、15分程度の面接を行います。

10 授業科目及び担当教員

●看護学専攻〔修士課程〕

分野	授業科目	担当教員
療養生活支援看護学分野	看護学研究法特論Ⅰ 看護理論特論 療養生活支援看護学総論 小児看護学特論 小児看護学演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 津田 茂子
	看護教育学特論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 小薬 祐子
	看護教育学特論 多職種連携特論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 志田 久美子
	看護倫理特論 療養生活支援看護学総論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 伊藤 久美
	看護学研究法特論Ⅱ 看護倫理特論 療養生活支援看護学総論 緩和ケア特論 緩和ケア演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 大西 奈保子
	看護教育学特論	准教授 梅津 靖江
	看護教育学特論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	准教授 佐藤 亜月子
	看護学研究法特論Ⅰ 看護学研究法特論Ⅱ 療養生活支援看護学総論 療養生活ケア特論 療養生活ケア演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	准教授 糸井 和佳

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。
 ※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

分野	授業科目	担当教員
地域生活支援看護学分野	多職種連携特論 地域生活支援看護学総論 地域看護学特論 地域看護学演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 吉岡 幸子
	看護学研究法特論Ⅰ 看護システムマネジメント特論 地域生活支援看護学総論 母性看護学特論 母性看護学演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 新野 由子
	看護学研究法特論Ⅱ 地域生活支援看護学総論 精神保健看護学特論 精神保健看護学演習 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	教授 宮城 純子
	地域生活支援看護学総論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	准教授 清野 純子
	看護システムマネジメント特論 フィジカルアセスメント特論 地域生活支援看護学総論 看護学特別研究Ⅰ 看護学特別研究Ⅱ	准教授 大釜 信政

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。
 ※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

11 指導教員及び研究指導内容

分野	指導教員	研究指導内容
療養生活支援看護分野	教授 津田 茂子	小児看護学領域の研究課題について、修士論文を作成するプロセスを指導する。健康障害をもちながら、社会生活を営む小児と家族の適応を促進し、セルフケアを維持し、より高い生活の質を保証していくための研究について指導を行う。
	教授 小栗 祐子	看護基礎教育において、様々な健康レベルにある人の栄養管理、清潔ケアに必要な看護技術教育の方法に関する研究指導を行う。
	教授 志田 久美子	ターミナルケアの実践では、看護師の死生観が、患者のスピリチュアルペインへの気づきなどケアの質を左右する。そのため看護師がターミナルケアの実践をし続けられるための看護師へのケア、特に看護師へのスピリチュアルケアについて研究指導を行う。
	教授 伊藤 久美	終末期にある子どもの End-of-Life Care を中心に、子ども自身への説明や意思決定に参加することについて、親だけでなくきょうだい、祖父母も含めた家族へのサポート方法、そして子どもの End-of-Life Care に携わる医療者へのサポートシステムの構築などの研究指導を行う。
	教授 大西 奈保子	ターミナル期にある患者・家族への緩和ケアについて、トータルペインや終末期に起こりうる倫理的な問題、グリーフケア、さらに施設内ケアのみならず、在宅ホスピスケアについて研究指導を行う。
	准教授 糸井 和佳	高齢者と家族の健康と生活を支える老年看護並びに、高齢者が生きてきた生活史を生かしたパーソンセンタードケア、世代間交流看護支援について研究指導を行う。
地域生活支援看護分野	教授 吉岡 幸子	高齢者虐待やセルフ・ネグレクト、依存症関連問題に対して、地域ケアシステムの視点から、要因分析、対応方法、予防などについて研究指導を行う。
	教授 新野 由子	思春期、性成熟期、更年期の女性の健康に関する問題やケアのあり方、母子保健政策・施策に関する研究など、問題点や課題に関して、解決に繋げていくことを目指し研究指導を行う。
	教授 宮城 純子	精神障害者の社会復帰や地域生活支援、司法精神医療に関連する触法精神障害者の諸問題について、家族や倫理的な問題を含めた望ましい支援の在り方について研究指導を行う。
	准教授 清野 純子	療養生活を送る患者は様々なストレスを抱えている。そのため、基本的なストレスの概念を学ぶとともに、患者が疾病を受け入れ病気と共に生きる力（レジリエンス）を高めていくための基本的概念やその方策について研究指導を行う。

※ 指導教員については、退職等により変更になる場合があります。

12 授業の実施方法について

本専攻では授業時間を原則、昼夜開講します。できるだけ大学院生に合わせた開講時間を設定しますので、事前相談の際にご相談ください。また、夏期休業期間及び冬期休業期間に集中講義を柔軟に実施します。

■ 医療科学研究科

- 修士課程 柔道整復学健康ケア専攻

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 学校教育法に定める大学を卒業した者及び令和3年3月末日までに卒業見込みの者
- 2 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学日本校」をご参照ください。
- 6 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月末日までに修了見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」をご参照ください。
- 7 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 8 文部科学大臣の指定した者
- 9 学校教育法の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本学大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- 10 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた22歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の7又は8によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の9又は10によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P35「11指導教員及び研究内容」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込み先までメールにてお申し込みください。

- 1 事前相談該当者について
医療科学研究科に出願を希望する方は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。
- 2 指導を希望する教員について
P35「11指導教員及び研究内容」を参照してください。
- 3 期間について
遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。
- 4 申込方法について
以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。
 - (1) メールタイトル
「大学院 医療科学研究科 事前相談希望」
 - (2) 必要事項
① 氏名（カナ） ② 性別 ③ 志望する専攻・課程 ④ 希望する研究分野
⑤ 指導を希望する教員名 ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
 - (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

- 帝京科学大学 千住キャンパス〔東京都足立区千住桜木2-2-1〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）の裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業（見込）証明書 成績証明書	最終学歴の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（見込）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（見込）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所は P33参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、実際のサイズで印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

(1) 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P33参照）、A4サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず、氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

- 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。
- 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。
- ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

- (1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P33参照）、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。
- (2) 市販の角形2号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。
- (3) 提出方法
 - ① 郵便による出願（出願期間内必着）
最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。
 - ② 直接来学しての出願（出願期間・窓口受付時間等にご注意ください。）
- (4) 出願先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館4階入試センター）
〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号
電話：03-6910-3706（入試係直通）
窓口受付時間：月曜～金曜9時～16時、土曜9時～12時
※ 指定された出願期間以外の出願はできません。
※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。
- (5) 注意事項
 - ① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。
 - ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
 - ③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。
 - ④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
 - ⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。
HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類
<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

筆記試験、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に合否を決定します。

時間	試験内容	
9:00～9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～11:00	専門科目	柔道整復学における主な運動器外傷、身体運動などに関する知識を測る試験を行います。
	英語	基礎的な知識を測る試験を行います。なお、試験の際、大学から英和辞書を貸与します。
11:10～12:10	小論文	
12:50～13:00	受験上の注意	面接について
13:00～	面接	志望する研究内容や意欲等について、15分程度の面接を行います。

10 授業科目及び担当教員

●柔道整復学健康ケア専攻〔修士課程〕

授業科目	担当教員
健康増進体力学特論 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 有賀 雅史
運動器外傷学特論 運動器外傷学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 市毛 雅之
健康ケア医療科学特論 健康ケア医療科学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 久保田俊一郎
身体構造学特論 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 杉山 涉
身体構造学特論 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 高田 雄三
身体健康ケア特論 身体健康ケア演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 二神 弘子
臨床医療科学特論 臨床医療科学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 山内 禎祐

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。
 ※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

授業科目	担当教員
病因論特論 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 渡邊 利明
身体機能学特論 健康科学特論 身体健康ケア特論 身体健康ケア演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	教授 渡會 公治
応用実践整復医療学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	准教授 市ヶ谷 武生
運動分析学特論 運動分析学演習 運動分析学演習 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ 柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ 特別研究Ⅰ	准教授 行田 直人
徒手療法学特論	兼任講師 竹内 仁
健康心理学特論	兼任講師 津田 彰
応用実践整復医療学特論	兼任講師 登本 茂芳

※ 授業科目については、令和3年度開講予定科目を記載しています。
 ※ 担当教員については、退職等により変更になる場合があります。

11 指導教員及び研究内容

本専攻では、大きく2つの観点から高度専門職業人を養成すべく研究を設定しています。1つは、運動や日常生活上の不意な動作等により生じる急性外傷に対する理論と、それを改善するまたは再発予防としての柔道整復施術の理論と処置法等についての研究です。もう1つは生活習慣での身体の不調の原因を探り健康管理の手助け（健康ケア）を運動から支援する観点からの研究についてです。各指導教員の研究内容は以下の通りです。指導教員を選ぶ際の参考として下さい。また、以下の研究内容以外での研究を希望したい場合には、それに関連する近い研究内容の指導教員と相談してください。

指導教員	研究指導内容
教授 有賀 雅史	パフォーマンス向上のためのトレーニング理論と実践に関する研究
教授 市毛 雅之	スポーツ・日常生活動作における外傷の発生機序・発生率とその動作と予防に関する研究
教授 久保田俊一郎	運動による心筋・骨格筋の再生への効果に関する研究
教授 杉山 渉	各種スポーツにおけるカスタムメイド・マウスガード装着時の有用性に関する研究
教授 高田 雄三	分子生物学的視点による身体構造と機能解析に関する研究
教授 二神 弘子	体性感覚刺激による生体反応の評価および体性感覚刺激によるストレス緩衝作用に関する研究
教授 山内 禎祐	画像診断（X線 CT、MRI、血管造影）およびその応用に関する研究
教授 渡邊 利明	パーキンソン病の神経病理学的研究 骨粗鬆症関連 DNA の検索の神経病理学的研究
教授 渡會 公治	スポーツ外傷・障害の原因、要因の追究と予防に関する研究
准教授 市ヶ谷 武生	整復の原理とメカニズム—特に機能解剖学的な視点に関する研究
准教授 行田 直人	痛みに対する徒手圧痛検査評価手法や痛み等の愁訴改善対策としての運動効果の動作分析学的研究

※ 指導教員については、退職等により変更になる場合があります。

12 授業の実施方法について

本専攻では授業時間を原則、昼夜開講します。できるだけ大学院生に合わせた開講時間を設定しますので、事前相談の際にご相談ください。また、夏期休業期間及び冬期休業期間に集中講義を柔軟に実施します。

■ 医療科学研究科

- 博士課程 総合リハビリテーション学専攻

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- 1 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和3年3月末日までに取得見込みの者
- 2 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 3 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
- 4 日本国内において、外国の大学院相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月末日までに授与される見込みの者
※ 文部科学省ホームページの「文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校」をご参照ください。
- 5 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- 6 文部科学大臣の指定した者
- 7 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた24歳以上の者

《注意事項》

- (1) 出願に際しては、出願資格に関わらず研究指導を希望する教員との事前相談が必要です。
- (2) 出願資格の3、4、5、6によって出願しようとする場合は、出願開始日の1か月前までに入試・広報課 入試係へ問い合わせてください。
- (3) 出願資格の7によって出願しようとする場合は、教員との事前相談後に「個別の入学資格審査」を行い、認められた方のみが出願できます。
- (4) 社会人特別選考に出願しようとする場合は、出願開始日の2週間前までに入試・広報課 入試係へ連絡してください。

2 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、出願に先立ち必ず指導を希望する教員と入学後の研究・教育について事前相談が必要です。P40「10指導教員及び研究内容」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら以下の申込先までメールにてお申し込みください。

1 事前相談該当者について

医療科学研究科に出願を希望する者は、学外出身、学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。

2 指導を希望する教員について

P40「10指導教員及び研究内容」を参照してください。

3 期間について

遅くとも出願する2週間前までに事前相談を済ませてください。

4 申込方法について

以下の申込先に、必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。

- (1) メールタイトル 「大学院 医療科学研究科 事前相談希望」
- (2) 必要事項
 - ① 氏名（カナ）
 - ② 性別
 - ③ 志望する専攻・課程
 - ④ 希望する研究分野
 - ⑤ 指導を希望する教員名
 - ⑥ 連絡先（電話番号、メールアドレス）
- (3) 申込先
帝京科学大学 入試・広報課 入試係
メールアドレス：nyushi@ntu.ac.jp

3 試験日程

区分	出願期間（締切日必着）	選考試験日	合格発表日	手続期日
I期	令和2年8月24日（月） ～ 8月28日（金）	令和2年9月4日（金）	令和2年9月10日（木）	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年2月22日（月） ～ 2月26日（金）	令和3年3月5日（金）	令和3年3月11日（木）	令和3年3月18日（木）

4 試験場

● 帝京科学大学 千住キャンパス〔東京都足立区千住桜木2-2-1〕 ※ P47参照

5 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	注意事項等
志願票（本学所定用紙）	出願前3か月以内に撮影したカラー写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、無背景のもの）の裏面に志望専攻名及び氏名を明記し、所定欄に貼付してください。
卒業証明書及び修了（見込）証明書	出身大学及び大学院の学長等が作成・証明し、厳封したもの ※ 外国の大学・大学院を卒業（修了）した者は、学位取得証明書（原本）も併せて提出してください。
成績証明書	① 出願資格1により出願する者：学部及び大学院修士課程の成績証明書 ② 出願資格2、3、4、5により出願する者：当該教育課程の成績証明書 ③ 出願資格6、7により出願する者：最終出身大学等の成績証明書 ※ 上記①、②、③は、出身大学長等が作成・証明し、厳封したもの
学位授与取得証明書	出願資格2に該当する場合 ※ 授与される見込みの者については、授与後速やかに提出してください。
志望理由書（本学所定用紙）	志望の理由及び将来の研究に対する希望について400字程度にまとめたもの
修士の学位論文及び修士学位論文要旨（本学所定用紙）	① 修士の学位論文を提出した者は、学位論文の写し及び修士学位論文要旨（本学所定用紙）を提出してください。 ② 令和3年3月に修士課程修了見込みの者は、修士学位論文要旨（本学所定用紙）を提出してください。 ※ 上記に加えて公表論文・研究業績がある場合は、論文等の写し及び研究業績調査書（本学所定用紙）を提出してください。
研究経過報告書（本学所定用紙）	前項①②以外の方は、研究経過報告書（本学所定用紙）を提出してください。
研究計画書（本学所定用紙）	400字程度にまとめたもの
受験承諾書（本学所定用紙）	官公庁、学校、企業等の在職者であり、入学後も在職する予定である場合には、所属長の受験承諾書を添付してください。
住民票の写し	日本国内に在留している外国籍の方は、市区町村で発行された住民票の写し（在留資格・在留期間・在留期間の満了の日等が記載されたもの）を提出してください（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）。
成績証明書、卒業（修了）証明書等の日本語の翻訳	日本語以外の言語の成績証明書、卒業（修了）証明書及び学位取得証明書等を提出する場合は、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を提出してください。

《注意事項》

- 出願書類については、本学所定用紙を本学ホームページからダウンロード（掲載場所は P39参照）し、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。また、印刷時のページサイズの設定では、縮小拡大を行わず、実際のサイズで印刷してください。
- 証明書の氏名が出願時と異なる場合（旧姓等）、戸籍抄本（戸籍個人事項証明書）を添付してください。
- 外国語で作成されている書類には、公的機関や民間の翻訳会社等の発行する日本語の翻訳（原本）を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合は受理できません。
- 提出書類は、入学後の指導希望教員に受験の了承を得てから提出してください。

6 入学検定料 33,000円

(1) 入学検定料振込依頼書の印刷について

出願書類と同様に入学検定料振込依頼書を本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P39参照）、A4サイズのコピー用紙に縮小及び拡大等を行わず、片面印刷をしてください。

なお、印刷が適当でないと、金融機関窓口で受付できないことがあります。印刷した振込依頼書が使用できない場合は、金融機関に備え付けの振込依頼書を用いて、所定の事項を転記の上、納入してください。転記の際は、必ず、氏名（カタカナ）の頭部に整理番号を明記してください。

(2) 振込依頼書の整理番号欄には志望する専攻の整理番号を記入してください。

(3) 振込金領収書は志願者本人控えとなりますので、お手元で保管してください。

(4) ATM や電話・インターネット等による支払いはできません。

7 出願方法

(1) 出願書類と同様に宛先ラベルを本学ホームページからダウンロードし（掲載場所は P39参照）、A4サイズのコピー用紙に片面印刷をしてください。

(2) 市販の角形2号封筒を用意し、印刷した宛先ラベルを貼付し、提出書類を一括して封筒に入れて提出してください。

(3) 提出方法

① 郵便による出願（出願期間内必着）

最寄りの郵便局から簡易書留速達郵便で送付してください。

② 直接来学しての出願（出願期間・窓口受付時間等にご注意ください。）

(4) 出願先

帝京科学大学 入試・広報課 入試係（千住キャンパス本館4階入試センター）

〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号

電話：03-6910-3706（入試係直通）

窓口受付時間：月曜～金曜9時～16時、土曜9時～12時

※ 指定された出願期間以外の出願はできません。

※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取り扱いを行いません。

(5) 注意事項

① 出願書類は、入学検定料納入完了後に提出してください。

② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

③ 提出した出願書類及び入学検定料は、返還しません。

④ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。

⑤ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

8 出願書類等の掲載場所

出願書類、入学検定料振込依頼書、宛先ラベルは本学ホームページの次の場所に掲載しています。

HOME > 入試・入学案内 > 入学試験要項・出願書類 > 大学院入学試験 出願書類

<https://www.ntu.ac.jp/exam/gakubu/index.html>



9 選考方法（時間割及び試験内容）

(1) 一般選考

筆記試験、口述試験・面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に可否を決定します。

時間	試験内容	
9:00～9:30	試験室入室時刻	9:30までに着席してください。
9:45～10:00	受験上の注意	筆記試験について
10:00～11:00	英語	大学から辞書を貸与します。
11:10～12:10	小論文	
12:50～13:00	受験上の注意	面接について
13:00～	口述試験・面接	修士論文あるいはこれまでの研究内容等について、発表と質疑応答、博士課程における研究概要等について、30分程度の口述試験・面接を行います。

(2) 社会人特別選考

出願資格の各号のいずれかに該当する者で、各種の研究機関、教育機関又は企業等に2年以上勤務し、入学後も引き続きその身分を有し、勤務成績が優秀であり、所属長の承諾を受けた社会人を対象に、面接及び書類審査（成績証明書、志望理由書等）を行い、総合的に可否を決定します。

時間	試験内容	
12:15～12:45	面接控室入室時刻	12:45までに着席してください。
12:50～13:00	受験上の注意	面接について
13:00～	面接	志望する研究内容等のほか、提出された研究計画書等について、30分程度の面接を行います。

10 指導教員及び研究内容

○：主指導教員

指導教員	研究内容
○教授 泉 キヨ子	高齢者リハビリテーションケア技術の開発および転倒予防システムの構築に関する研究
○教授 津田 彰	科学的根拠に基づいた効果的なストレスマネジメントプログラム効果の評価と実践介入などの研究
○教授 吉岡 幸子	個人や家族、地域特性を踏まえ、生活者としての健康課題を予防的介入方法に関する研究
○教授 鈴木 幹夫	精神障害である気分障害と統合失調症について、そのリハビリテーションの臨床に関する研究
○教授 山田 健司	人口変容による生活問題と終末期ケアに対応する医療・看護・介護・福祉ネットワークシステム構築の研究
○教授 眞先 敏弘	神経内科領域の再生医療を取り上げ、本分野での幹細胞移植治療についての研究
○教授 萩原 宏毅	運動が骨格筋、代謝、脳機能に与える影響や運動制御の神経機構についての研究
○教授 高田 雄三	抗酸化ストレス関連遺伝子による生活習慣病の分子病態解析・予防医学的研究に関する研究
○教授 宮城 純子	精神障害者に対する社会復帰や地域支援体制の確立に関する研究
教授 潮見 泰藏	脳傷害後の運動障害に対する評価指標ならびにトレーニングプログラムの開発に関する研究
准教授 楠永 敏恵	在宅の医療的ケアに関する包括的分析とその対策に関する研究
准教授 廣瀬 昇	在宅の医療的ケアに関する包括的分析とその対策に関する研究運動が骨格筋及び身体活動に及ぼす影響について研究

※ 指導教員については、退職等により変更になる場合があります。

11 授業の実施方法について

本専攻では授業時間は原則、昼夜開講します。できるだけ大学院生に合わせた開講時間を設定しますので、事前相談の際にご相談ください。また、夏期休業期間及び冬期休業期間に集中講義を柔軟に実施します。

■ 共通事項

- 試験に関する注意事項
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 合格発表
- 入学手続について
- 長期履修制度について
(医療科学研究科 修士課程)
- 入学辞退について
- 個別の入学資格審査について
- 試験場案内

1 試験に関する注意事項

(1) 試験日及び試験場について

試験日及び試験場を間違えないよう、受験票で必ず確認してください。指定された試験日及び試験場以外では受験できません。試験室は、当日試験場（1階ロビー）に掲示しますので、確認のうえ、集合時刻までに入室してください。

(2) 試験室及び面接控室への入室時刻について

入学試験区分により入室時刻が異なるため、志望専攻の各試験区分の試験時間割を参照してください。

(3) 遅刻について

試験開始後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。

※交通機関の乱れや災害等が発生した場合は、開始時刻を繰り下げることがあります。

(4) 昼食について

カフェテリア（学生食堂）の使用はできません。昼食を取る場合は、持参してください。

(5) 受験上の注意

- ① 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票がない方は受験できません。
- ② 試験室（面接控室）では、机上の受験番号ラベルが受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- ③ 受験票は監督者が見やすいように、机上の受験番号ラベルの下に置いてください。
- ④ 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。
- ⑤ 不正行為者には退室を命じ、失格とします。
- ⑥ 試験場及び試験室（面接控室）において、他の受験者に迷惑となるような行為を禁止します。
- ⑦ 机の上に置けるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）、英和辞書（大学から貸与したものに限り）、時計（時計機能だけのもの）及びメガネとします。これ以外の所持品を机の上に置くことは認めません。
- ⑧ 定規、コンパス、計算機等の補助具や電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。試験時間中にこれらを使用（机の上に置く等）したり、身に付けていることが発覚した場合、失格となります。
- ⑨ 携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤー等の音の出る機器は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れてください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。これらを時計として使用することはできません。
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者及び係員が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で保管する場合があります。
- ⑩ 待機時間においても携帯電話等の電子機器類は使用できません。携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、かばん等に入れてください。これらの使用が発覚した場合は、失格となることがあります。
- ⑪ 風邪等の理由により、ハンカチ、ティッシュペーパー、ひざかけ、目薬、鼻薬等の使用を希望する方は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。（マスクは各自お持ちのうえ、昼食時以外は必ず着用してください。）
- ⑫ 耳栓は、監督者及び係員の指示等が聞き取れないことがあるため、使用できません。
- ⑬ 試験に必要なものは、全てかばん等に入れて椅子の下に置いてください。
- ⑭ 試験時間内の答案提出、退出は認めません。試験中の発病や用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者及び係員の指示に従ってください。
ただし、一時退出が認められた場合でも試験室以外での受験はできません。また、一時退出をした場合の試験時間の延長は認めません。
- ⑮ 試験時間中に日常生活騒音（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せ等、自動車・風雨・空調の音等、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音等、時計や携帯電話等の電子機器類の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音・周囲の工事音等）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- ⑯ 面接試験の開始時刻は変更となることがありますので、当日の掲示または監督者の指示に従ってください。
- ⑰ 試験終了後、忘れ物がないか確認してから退出してください。忘れ物をした場合は、受験した試験場に連絡してください。
- ⑱ 受験票は合否確認の際に必要となるため、必ず持ち帰り、大切に保管してください。

2 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全で安心に全ての受験者が受験できるようご協力をお願いします。

(1) 医療機関での受診

発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

(2) 受験できない者

新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません。

(3) 受験の取り止め

試験の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験者は、当初予定していた日程ではなく、別試験等の受験についてご相談ください。

(4) 試験当日における対応

発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止め、別試験等の受験についてご相談ください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

症状の有無にかかわらず、各自マスクをお持ちのうえ、試験場では、昼食時以外は常に着用してください。休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。

(5) 試験当日の服装、昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、暖かい上着などをお持ちください。また、試験場で食堂の営業等を行わないため、昼食を持参し、自席で食事をとってください。

(6) ワクチンの接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチンその他の予防接種を受けることをご検討ください。

(7) 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。

3 合格発表について

(1) 合格発表日に、受験者全員に受験票を送付した宛先に志願者本人宛で、選考結果を郵便にて通知します（学内掲示による発表は行いません）。

(2) 合格者には合格発表日に、入学手続書類等を郵便で発送します。

※窓口、電話、郵送等による合否結果の照会に関する問合せには一切応じません。

4 入学手続について

(1) 手続方法

合格者には、選考結果と一緒に「入学手続要項」を送付します。入学手続は「入学手続要項」を参照し行ってください。

① 入学金及び授業料等の納入

本学所定の振込依頼書により、最寄りの金融機関から指定期日までに振り込んでください。

納入期日までに手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとみなし、入学許可を取り消します。

② 書類提出〔誓約書、卒業（修了）証明書〕

書類提出の詳細については、「入学手続要項」においてお知らせします。

(2) 手続期限

区分	学費納入期日及び書類提出期日
I期	令和2年9月17日（木）
II期	令和3年3月18日（木）

(3) 分割納入について

理工学研究科（修士課程及び博士課程）のI期の合格者に限り、入学金及び授業料等の分割納入が可能です。合格発表日から指定期日までに入学金を納入し、令和3年2月12日（金）までに残額を納入することもできます。

5 長期履修制度（医療科学研究科 修士課程）

本学では、職業等に従事しているなどの事情により、大学院の標準修業年限（2年）で履修することが困難な場合、4年を上限として計画的に教育課程を履修することができる長期履修制度を医療科学研究科（修士課程）で導入しています。授業料等は、学則に定める授業料等の年額に標準修業年限を乗じ、その額を長期履修期間の年数で除した額とします。

(1) 申請資格

長期履修制度に申請できる方は、職業を有している方又はその他やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難な方に限ります。

(2) 申請対象研究科等

医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻（修士課程）
看護学専攻（修士課程）
柔道整復学健康ケア専攻（修士課程）

(3) 長期履修期間

長期履修期間は、年度単位とし、次のいずれかとします。

- ① 入学時から長期履修制度を許可された者は、3年又は4年
- ② 1年次に長期履修制度を許可された者は、残りの修業年限に1年又は2年を加えた年数

(4) 申請時期及び申請書類

出願期間内に出願書類とともに、長期履修制度申請書（本学所定）に職業を有している者は在職証明書、その他のやむを得ない事情の場合はその事情を証明する書類を添付して、提出してください。合格通知とともに、申請の許可又は不許可についてお知らせします。

(5) 長期履修期間の変更

入学後、長期履修期間の延長又は短縮を申請することができます。ただし、変更は1回限りとします。

(6) 授業料等について

長期履修制度における授業料等（授業料及び施設設備費）の年額は、学則に定める授業料等の年額に、標準修業年限を乗じ、その額を長期履修期間の年数で除した額とします。その額に千円未満の端数が生じる場合は切り下げ、端数の合計額を初年時に加算します。在学中に長期履修期間の変更が認められた場合は、新たな履修期間に応じて再計算します。

6 入学辞退手続

入学手続を完了した方で入学を辞退する場合は、令和3年3月31日（水）16時までに以下の連絡先へ電話連絡し、入学辞退を申し出てください。その時点をもって入学辞退が確定します。後日本学より送付する「入学辞退届」に必要事項を記入し、「入学許可書」とともに返送してください。返送された書類を確認した上で、入学金を除く金額を返還します。なお、上記期日を過ぎての入学辞退申出については、納入金を返還しません。

【入学辞退の連絡先】

帝京科学大学 千住キャンパス 入試・広報課 入試係

TEL：03-6910-3706（入試係直通）

受付時間：月曜～金曜9時～16時、土曜9時～12時

※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取扱いを行いません。

7 個別の入学資格審査について

「個別の入学資格審査」の該当者は、申請前に指導を希望する教員と事前相談を行い、承諾を得たうえで、入試係へ問い合わせ、提出書類を入手し、以下の申請期間に必要な書類を提出してください。

(1) 入学資格審査申請期間

区分	申請期間（期間内必着）
第1次	令和2年 7月13日（月）～令和2年 7月22日（水）
第2次	令和2年12月21日（月）～令和3年 1月 8日（金）

(2) 提出書類

- ① 入学資格審査申請書（本学所定用紙）
- ② 生年月日を証明する書類（住民票の写しなど）
- ③ 卒業証明書（令和2年4月以降に最終学歴校の学校長等が作成・証明し、厳封されたもの）
- ④ 成績証明書（令和2年4月以降に最終学歴校の学校長等が作成・証明し、厳封されたもの）
- ⑤ 大学院進学希望理由書（本学所定用紙）
- ⑥ 実社会での実務経験・取得した資格などを証明する書類
- ⑦ その他、本学が審査に必要として指定した書類

※「入学資格審査書類在中」と明記の上、入試・広報課 入試係へ郵送してください。

(3) お問い合わせ先

帝京科学大学 千住キャンパス 入試・広報課 入試係

〒120-0045 東京都足立区千住桜木2丁目2番1号

電話：03-6910-3706（直通）

受付時間：月曜～金曜9時～16時、土曜9時～12時

※ 日曜、祝日及び年末年始〔12月29日（火）～1月2日（土）〕は事務の取扱いを行いません。

(4) 審査結果通知

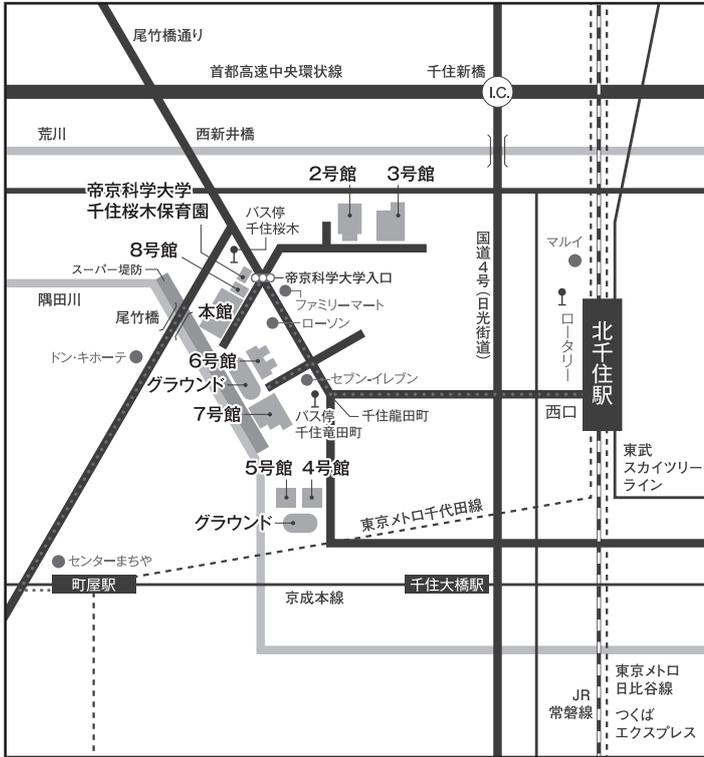
審査結果は、以下の通知日までに郵送により本人宛に通知します。

本学への入学資格を認められた方は、出願書類（卒業証明書、成績証明書を除く。）を取り揃え、「入学資格認定書」の写しを添付し、出願手続に従い提出してください。

区分	通知日
第1次	令和2年8月24日（月）
第2次	令和3年2月 1日（月）

8 試験場案内

千住キャンパス 本館、2号館、7号館



〒120-0045 東京都足立区千住桜木2-2-1

【本館、2号館】

北千住駅西口からバス5分(千住桜木バス停下車 徒歩1分)

北千住駅から徒歩約20分

町屋駅からバス5分又は徒歩約18分

【7号館】

北千住駅西口からバス4分(千住竜田町バス停下車 徒歩1分)

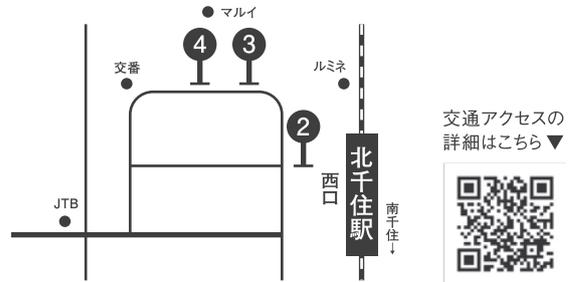
北千住駅から徒歩約15分

【東武バス】

- ②番乗り場 ・北01「西新井大師」行き
- ④番乗り場 ・北02、03「西新井大師」行き
- ・北04「西新井駅西口」行き
- ・北05「江北駅」行き

【都営バス】

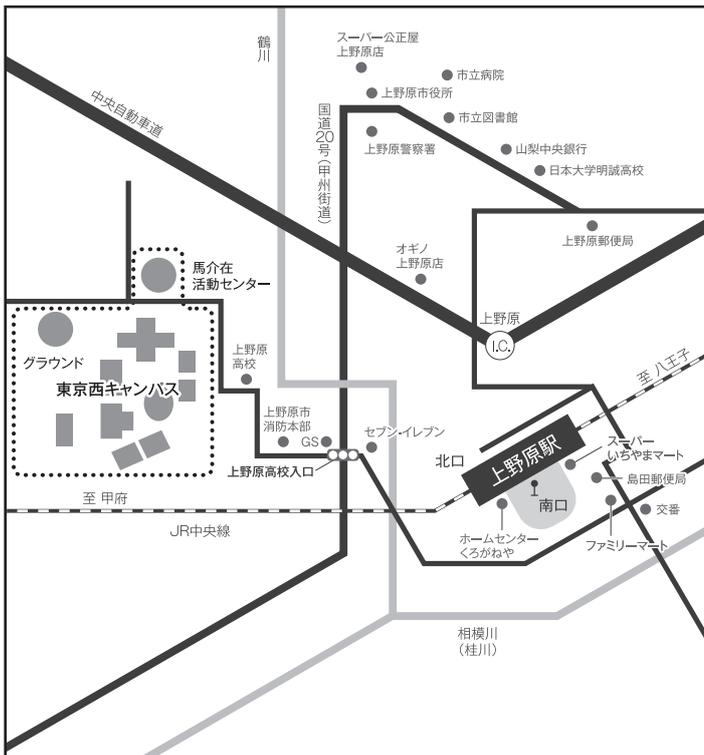
- ③番乗り場 ・王45「王子駅前」行き
- ・端44「駒込病院前」行き
- (千住桜木バス停下車 徒歩3分)



交通アクセスの詳細はこちら▼



東京西キャンパス



〒409-0193 山梨県上野原市ハツ沢2525

JR中央線上野原駅南口からバス5分

交通アクセスの詳細はこちら▼



■ お問い合わせ先

帝京科学大学 入試・広報課 入試係

〒120-0045 東京都足立区千住桜木二丁目 2 番 1 号

TEL：03-6910-3706（直通）

FAX：03-6910-3802

E-mail：nyushi@ntu.ac.jp

公式ウェブサイト：<https://www.ntu.ac.jp/>



帝京科学大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「同機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。